

知識、経験豊富なシニアが耳傾ける

健康、医療、介護… 相談 無料で応じます

福岡市城南区「つながるさくらサロン」



つながるさくらサロンは、サービス付き高齢者向け住宅の中で相談を受け付けている

同サロンを発案し立ち上げたのは、さくら病院の江頭啓介理事長(7)、経営コンサルタント会社社長だった鷹野さん(82)、NFT

西日本の前九州支店長で現

健康、医療、介護について地域住民からの相談に無料に応じる「つながるさくらサロン」が福岡市城南区長尾にオープンした。地域が制度やサービスの内容を理解するのは簡単ではな

い「相談先も分からず、孤立したり、不安を抱えた

長を務める右田聖秀さん(56)。

友会同士だった3人は、医療や介護の現状について語り合う中で「地域暮らし高齢者らにとって、公的資金で相談員の人件費な

らサロン」が福岡市城南区長尾にオープンした。地域が制度やサービスの内容を理解するのは簡単ではな

は、本社シニア革新本部軽に利用できる相談拠点などを確保。昨年11月、さくら病院系列のサービス付き調の部屋(約62平方メートル)にやさしいと江頭理事長。サロンは高齢者に限らずだ



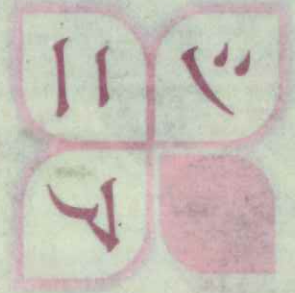
つながるさくらサロンに勢ぞろいした、相談員の(左から)山口典子さん、小川美和さん、水城須美子さん、井上富士子さん、事務員の佐藤祐子さん

「だれかのために役立ちたい」

医療現場のベテランぞろい 相談員4人 70～86歳

「つながるさくらサロン」の相談員4人は、いずれも看護師などとして医療現場に長く携わってきたベテラン管理者や看護部長を務める。約10年働いて2013年まで部長として2013年まで市立市民病院の理事を務めた。困っている人、苦しんでいる人の話をしっかり聞き、解決に向けて一緒に考えていきたいと意気込む。約20年勤務、訪問看護で在宅看取りに携わった経験も

ある。11年には福岡県知事表彰を受けた。ケアホスピタル系各種のサービスにさまざまな経験を積んでいく。お手伝いなどができれば、今も同病棟とは別のケアサービスで週に2、3日働く。「だれかのために役に立ちたい」と思いが、まだまだあつて引き受けました。さくら病院にも看護部長として2025年まで12年間勤務。認知症の母(91歳で他界)を介護した経験もある。「公的な相談窓口はいろいろあるが、どこに相談すればいいかわからない方もいると思う。そんな人たちの手助けをしたい」と話す。



たひとした雰囲気相談しやすいは、すぐ江頭理事長。サロンは高齢者に限らずだ。応接セットを用意し、コーナーやお茶を振る舞いながら相談者の話に耳を傾け付けは、水、金曜の午後1時～4時。同サロンは092(40)1011。